

編集責任者：増村幸子

編集者：村田雅英

〒184-0004

小金井市本町 2-20-9-103

ホームページ：http://icihigoe.org/

メール：info@icihigoe.org

本年もよろしく  
お願いします



ございます

あけましておめでとう

## 第15回 交流会 ~クリスマスフェスタ~

2017年12月10日 13時～ 前原暫定会場

穏やかな冬の日差しに恵まれたこの日、初参加の当事者1組、  
緑川教授をはじめ中央大学の学生13名を合わせ総勢41名が  
元気に明るい笑顔で集いました。

クリスマスフェスタらしいサンタの衣装や装飾で会場が華やぐ中、  
武藤和義交流会運営委員長の司会によりいちごえ会の歌「幸せなら手をたた  
こう」で会はスタートしました。



第1部 自己紹介と近況報告。仕事に精を出し充実している、来年は  
就職する、ボランティアでランチを作っている、初参加で  
緊張気味だけど楽しい、などいろいろでした。

第2部 6班に分かれ、中大生考案のビンゴゲーム他。あちこちで  
「リーチ!!」「ビンゴ!!」と元気な歓声上がり熱中しました。  
賞品は盛りだくさん、和気あいあいの勝負でした。

第3部 クリスマスソングを3曲、山下晃司交流会運営副委員長の  
リードで大合唱しました。

飲み物はセルフサービスで用意した茶菓はほぼ完売でした。

発症後間もない方、初参加の方には会員が合間にアドバイスや情報交換をし助け合っていました。  
あっという間の2時間半、楽しいひと時で再会を約束して別れました。



# 第14回 交流会

2017年9月23日 14時から  
萌え木ホール

武藤和義交流会運営委員長になって初めての交流会で、キッチン栄の藤原慶昭  
コーヒーマスターによるおいしいコーヒーが振舞われました。

恒例のいちごえ会の唄「幸せなら手をたたこう」で会は始まりました。  
最初から5つの班に分かれて第1部自己紹介、第2部「私の困りごと」  
「ゆめ・希望」などコーヒーを頂きながら和やかな雰囲気でした。  
各班の代表者が話し合った結果を発表しました。当事者はゆめ・希望の  
お話、家族は困りごとが沢山あったようでした。



貴重な体験発表をする  
杉山さん

し、優しい気持ちが溢れていました。

参加者は中央大学緑川ゼミ生5名、事故  
にあった若い方、脳腫瘍の方など初参  
加の方もあり総勢31名、幅広い年代  
でした。一番若い方が出にくい言葉で  
「こんにちは」と挨拶されると全員拍手  
で「こんにちは」と応え感動に包まれ  
ました。同席のご両親に対しても、何  
かお手伝いできないかと会員が声掛け



脳腫瘍の方は出無精で引き籠りだったそうで、ご家族の勧め  
で参加されました。途中、お疲れではないかと案じましたが、  
最後まで皆さんと歓談されました。「同じ班の交流会運営委員  
の方が優しく対応して下さい楽しかった」と、後日メールが来  
ました。

コーヒーマスター藤原さんご夫妻も皆さんのために一生懸命  
コーヒーを入れてくださいました。

ご主人が当事者で、自信と誇りを持って黙々と31人分のコーヒ  
ーとお代わりを入れて下さいました。みどりさんはかいがいしく  
ご主人をサポートされ、コーヒーの香りがただよ、夫婦愛が  
会場を和ませてくれました。

みどりさんはご主人が使い慣れた道具で安心してコーヒーを入  
れることが出来るようにと細心の注意と準備をして下さいました。  
コーヒーマスターの縁の下の力持ちで、参加者に多くの感動を  
与えました。私たちは教わるが多かったです。和やかで、  
活発な意見交換ができ充実した交流会でした。

コーヒーマスター、運営委員、役員の皆さん  
ありがとうございました。

\*藤原慶昭さんはキッチン栄（立川市のレス  
トラン）のコーヒーマスターです。

みどりさんは「あきる野こーゆう」代表者で  
同じTKKの仲間です。



息のあったコーヒーマスターと  
みどりさん



自己紹介する村田さん（左）  
と、武藤運営委員長

## A happy new year!

しげもりきょうた

### いちごえ会のクリスマス フェスタ



2017年12月10日  
前原暫定会場

### いろいろな事があった

#### 2017年も…



いちごえ会を学問的に  
支えて下さる上田敏先生



いちごえ会のみんな

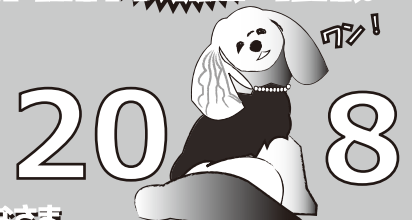


暮れました…!

除夜の鐘

そして!

## A HAPPY NEW YEAR!



みなさま

今年もいちごえ会をよろしくお願ひします!





# 茶和会



2017年9月2日 13:30 開始 参加者 14名



渋谷桂子茶和会会長の穏やかでユーモアのある口調で始まり、武藤滋子副会長の司会で恒例の自己紹介と近況報告をしました。

当事者のR Kさんは今回も一人で出席され家族のありがたさを出にくい言葉を絞るように話されました。前回よりも表情が穏やかになり活気がありました。

脳の病気で言語、記憶などに障害が残りひきこもり勝ちのKさんが、ご家族の勧めで漸く参加されました。疲労を察しましたが、表情は優しく穏やかで最後まで歓談されました。皆さん発症直後の自分を思い出し、お互いに助け合うことを話しました。

当事者のSさんは「できないことははっきり伝える」ことの大事さをご自分の体験からお話され、毎回ながら当事者の言葉の重みを感じました。

2017年11月23日 13:30 開始 参加者 10名

いつものメンバーが集まりました。美味しいコーヒーや差し入れのお菓子を頂きながら、自然に本音の悩み、日常の困りごとなどを話し合いました。

- \* 職業訓練校に行ったが、実務に役立たない訓練と授業
  - \* 仕事に就けない
  - \* 会社のグローバル化について行けない、公用語が英語になりそう
  - \* 障害者枠で入社したが出来ない仕事を命令される
  - \* 仕事のマネジメントが出来ないなど理解してもらえない
- など苦悩を吐露されました。

ひきこもりがちな方には次回の交流会への参加を呼びかけました。若いのに高齢者のデイサービスに通所する方にはほかに最適な場所はないか意見交換し、ケアマネさんと相談することをお勧めしました。当事者・介護者の高齢化の悩みも話しました。

仲間なので苦勞を分かち助け合って生きて行くことを今回も確認しました。

♪ 次回茶話会は 2018年4月14日 13:30 から 増村マンション集会室で行います ♪



## 「本人主体で、会うお茶会」ほっとかふえ

2017年11月12日 前原暫定会場にて 企画実行人 保手希一郎さん、重盛恭一さん

当事者2人で企画実行したカフェで、初めての試みでした。

就労移行支援事業所レジリエンス代表蟹江こうじさんがユーモアを交えて失語症者にもわかるようにゆっくりとご自分の生きざまを話されました。漫画家のアシスタント、交通事故、銀座やフランスでの個展、障害者への絵画教師などを経て高次脳機能障害者の就労支援事業への取り組んでいる半生を淡々と話されました。心がほのぼの温まり勇気を頂きました。



## ～茶和会に寄せて～

宇佐美晶子

茶和会に、当事者の母と介護者の父、そして娘の私、3人で初めて参加させて頂きました。母は昨年、脳腫瘍を患い外科手術後、抗癌剤治療を頑張っていますが、記憶・注意・遂行機能障害、不安や焦り…など、高次脳機能障害と同様の後遺症に苦しんでいます。

当日お部屋に入ると、皆様大変温かくお迎え下さり和やかなムードに安堵致しました。そして病歴、介護歴が10年、20年と長い皆様からは、暗さを全く感じさせない明るさと、運命を受け入れ確たるお気持ちで乗り越えていらっしゃる「強さ」を感じ、大変驚かされ胸打たれました。日の浅い私達家族にはまだ遠いことかもしれませんが、皆様からそのパワーをお分け頂き、一日一日を大切にゆるやかに過ごせたらと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

## 港区高次脳機能障害講演会 (TKK受託事業)

平成 29 年 10 月 22 日 リーブラホール

・講演 1 高次脳機能障害の方への地域支援  
～家族会を取り巻く支援システムについて～

講師 納谷敦夫氏 (なやクリニック院長 神経精神科医)

大阪府庁精神保健担当医として活躍、ご息子が重い事故で高次脳機能障害を負われ、大阪府立障害者福祉事業団理事長、大阪高次脳機能障害リハビリテーション研究会世話人他を歴任、高次脳機能障害に特化したなやクリニック、脳損傷生活介護施設など多くの先駆的事业をされています。

高次脳機能障害者のための成年後見以外に良い方法はないか、生活介護施設の必要性と運営などを話されました。

・講演 2 高次脳機能障害へのリハビリテーション  
～グループ訓練を中心に～

講師 石川篤氏 (東京慈恵会医科大学付属病院 作業療法士)

グループ訓練に参加することで病識を促す、居場所づくり、情報共有の場、ピア・カウンセリングの効果があり、慈恵オレンジクラブを引用しグループの運営について話されました。

耐久性・抑制・意欲発動性・注意集中・情報処理・記憶・遂行機能・交流能力・気づきに有効であり「医療枠」で行えるよう、石川先生は全国に普及活動中です。

高次脳機能障害に特化した集団療法の場があれば、早く生活の自立・社会参加・就労につながると思いました。

この日は台風 21 号の直撃と選挙でしたが、多数の方が参加されました。

## TKK 発足 15 周年 NPO 法人設立 10 周年記念講演会 安心な未来を目指して 高次脳機能障害の啓発と支援

日時 平成 29 年 8 月 27 日 浜離宮朝日ホール

・小池百合子知事のスピーチ

・参加団体の紹介

対談「ご本人たちに何う～脳損傷からの回復」

長谷川幹氏 / ご本人脳卒中の方

渡邊修氏 / ご本人頭部外傷の方

講演「突然妻が倒れたら」

～家族の視点から語る介護生活と社会の支え方～

松本方哉氏 フジテレビ解説委員・キャスター・

国際ジャーナリスト

奥さまがくも膜下出血で重い高次脳機能障害を負われ、仕事、介護、子育てに忙殺されながら、医療・福祉・介護制度などで自分の実体験から支援を鋭く指摘、共感しました。

高次脳機能障害支援法設立へのアピールを採択しました。

参加者は上田敏先生、増村代表他総計 8 名でした。

ディスプレイ作成 重盛恭一さん

いちごえ会の活動を  
わかりやすくポスター  
にまとめてくれました



## パイロットウォークに参加しました

平成 29 年 10 月 1 日

国際民間ボランティア団体桜パイロットは脳損傷者へ支援・理解を求め脳の大切さを訴えチャリティー活動をしてきました。その一つとして毎年パイロットウォークを実施、いちごえ会やサークルエコーなどが参加しました。武藤和義さん他合計 6 名が参加し、憲政記念館を見学しました。桜パイロットクラブから、寄付を頂いています。

## 平成 29 年度 高次脳機能障害講演会 高次脳機能障害の基礎と 回復を促す基本的な考え方

お知らせ

平成 30 年 1 月 27 日 (土) 15:00 ~ 17:00

商工会館 3 階 萌え木ホール A・B 会議室

講師 渡辺 修氏

[問い合わせ・申込先] ※申し込み〆切 1 月 25 日 (定員 50 人)

小金井市 自立生活支援課

TEL 042-387-9841 / FAX 042-384-2564

※いちごえ会副代表 村田雅英が当事者からの  
体験談をお話させていただきます

平成 29 年度

## 第 2 回 支援コーディネーター 全国会議・シンポジウム

お知らせ

平成 30 年 2 月 16 日 (金) 13:00 ~ 16:00

大手町サンケイプラザ 3 階会議室

対象者：高次脳機能障害支援拠点機関に所属する  
支援コーディネーター等

講演：小児期発症の高次脳機能障害児・者の支援に  
関する研究報告

講師：岡本邦広氏 (福井県立嶺南東特別支援学校)  
実績報告会 県の取り組み

シンポジウム

① 支援者の立場から

② 当事者の家族の立場から

※いちごえ会から増村幸子が発表します

【問い合わせ】 04-2995-3100

国リハ高次脳機能障害情報・支援センター



## 第 16 回交流会 in 小金井公園

2018 年 3 月下旬予定

詳細は後日ホームページで